

八王子市議会レポート

No.20 2006年1月12日



会員募集中

つくる、つくろう通信

陣内やすこ 八王子市議会議員・無所属

編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会／発行：市民自治の会

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 0426-36-8158 FAX 0426-36-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/



あけましておめでとうございます。

2006年 新春



昨年中は多くの市民の人たちが、当事者としてこのままではいけない、という運動を起こし、それらの方々と一緒に活動ができました。大きな力を頂きました。ありがとうございます。

今年も、その力をベースに、議員4年目、自分の仕事を点検しながらがんばっていきます。この国が大きく変わろうとしています。一人一人が大切にされる社会をめざします。

突如降ってきた、 廃プラスチック中間処理工場建設計画

やったね



会場は説明を求める住民でいっぱい。

大ゆれ、南大沢!!

凍結 (2005年12月22日決定)

町田市は容器包装リサイクル法に基づくプラスチック資源化のため、廃プラスチック中間処理工場建設を秘密裏にすすめてきました。今までに2回、計画が持ち上がったのですが、いずれも住民の反対で断念。今度は町田市の住民がほとんど住んでいない地区を選び、業者にまかせて、町田市は前面にでないようにしました。ところが、建設予定地から100メートル以内に八王子市住民が住む環境良好な住宅地があり、近くには小学校もあります。つまり、町田市が予定地としたのは、八王子との隣接地区だったのです。しかし、八王子住民には、なんら計画が知らされていませんでした。

11月13日、南大沢中郷公園で5000人集会が催されました。周辺の環境悪化や、健康被害に不安を持つ多くの住民がひとりひとり、黙っていられないとの思いで会場に駆けつけたのです。子どもたちのアピールは、まさに、**ゴミ問題は私たちの問題なのだから、一緒に考えましょう、**という提案でした。

11月19日には、町田市民向けの説明会がありました。このときも会場は1000人以上の人でいっぱいでした。市側の説明を聞いたうえで、たくさんの質問が飛び交いました。安全性については、他にも同様の施設がある、問題は起こっていない、といったことを根拠に説明しますが、具体的な質問に答えられません。

一緒にプラスチックの問題を考えていきましょう、住民と行政が同じテーブルにつきましょう、という提案が出されました。

12月3日、初めて八王子市民向けの話し合いの場が設定されました。町田市長は出席せず、また、11月19日の提案にも回答がない状態で、行政に対する不信任は募るばかりです。

「住民合意がないところで、事業をすすめない」。この約束をしてほしい。同じ土俵で話し合いをしていくには、どうしても必要なことです。住民との協働——まさにその中身が問われているのです。

住民の不安、そして当事者は私たち、住民を無視しないで、といった声が議会を動かしました。八王子の市議会で請願が採択。そして、町田市の市議会でも同様の請願(5本)が採択されました。これからがスタートです。

生活に便利なプラスチックが、処理困難物として私たちの生活を脅かす存在となってきたのです。ともに考えよう。ごみゼロ社会、そして循環型社会を築き上げるために。

*プラスチック処理工場見学に行ってきました。詳しくはホームページをご覧ください。

八王子市議会で採択された請願内容

(署名総数 13,971筆)


◆請願内容：

- 1) 市民の理解が得られるまでは、建設を進めないよう町田市に働きかける。
- 2) 予想される環境悪化に対して、具体的な対策を示すよう働きかける。
- 3) 近隣住民の不安が払拭され納得するまで、東京都が設置許可を行わないよう働きかける。

第4回定例議会開催される(11月30日~12月15日)


一般質問しました

どうなる、八王子の高齢者の暮らし!?


 : 4月からの改正介護保険法は、介護予防へとシフトするもの。65歳以上高齢者が介護予防の対象とされる。そして、地域包括支援センターに情報を集中させて、介護認定者をこれからの9年間で、八王子においては7000人程度、抑制することを目標とする、ということになっている。介護予防の効果をどう考え、どういったサービスを提供するのか。そのために、今までの介護予防の施策評価をどう考えるのか。

高齢者・障害者担当部長 : 老健事業は介護予防として効果を上げている。今後、介護保険の地域支援事業に移行することから、自己負担が生じると考える。今までの事業費は、予算ベースで2億円。筋力向上トレーニングは、効果があると考え。 (機械を使っても、使わなくても有意差はない)


どういった介護予防サービスを提供するかは、今、検討委員会で議論している。

 : 筋力向上トレーニングは、厚労省もマシンの効果に対して、懐疑的になってきている。介護保険の事業主体は自治体である。検討委員会もサービスの内容を市がどう考えているのか、示さなければ検討できないといっている。早急に市民に対して、サービスの内容を示すべきである。地域包括支援センターの設置が12ヵ所考えられており、今の在宅支援センターがそのまま、移行するということであるが、対象人口(厚生省案では高齢者人口2,3万万人に1ヵ所、しかし八王子では7万人程度を対象)が多すぎるし、地域的に社会資源の偏りも大きい。特に、大和田地区や片倉地区はデイサービスなども他地域より少ない状況。4月からの実施ではなく、2年の猶予がある。どういうサービスを提供するのか、地域の範囲は妥当か、どこが運営するのか、公平・中立が保てるのかなど、議論しなければならないことがたくさんある。地域包括支援センターは選ぶことができない。4月からの実施ではなく、延期を!

高齢者・障害者担当部長 : 地域包括支援センターの設置は、介護予防重視の転換を図るものなので、4月からの実施に努力している。公平・中立については、第3者機関の中で、確保していく。

 : 今まで利用していたホームヘルプサービスが介護予防という視点から制限されかねない。高齢者の一人暮らし、老々介護が増えている。その人たちの生活の質を支えていたのがホームヘルプサービスである。必要な人にとっての利用の制限がないよう、プラン段階での指導が必要。副市長は「介護依存が介護度を高めているということはデータからみても、いえない」と答えている。

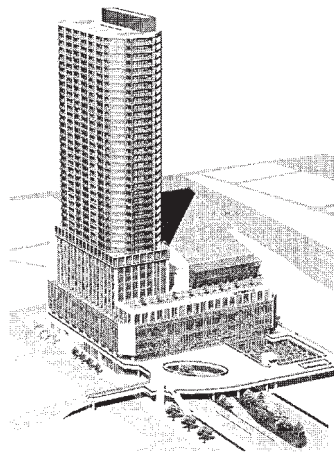
高齢者・障害者担当部長 : 本人の状態と希望に応じた適切なものとなるよう、ケアマネジャーに対し適切に指導監督していく。

 : 介護保険の改正に伴うサービスの見直しに関し、利用者の意見を聞き、柔軟に取り組んでいただきたい。


副市長 : 高齢者がその尊厳を保持しながら、住みなれた八王子の地で、安心して、生きがいを持って暮らし続けられますように、利用者本位の事業計画を策定すべき、努力している。今後は、事業の展開に即し、適宜見直しを行い、施策の充実に努めてまいります。

4月からの介護保険法改正に向けての保険料やサービスの内容が具体的にきまっていません。質問でも、計画策定検討会の報告をまって、という答弁でした。検討会としては、市が高齢者の暮らしをどう考えているのか、サービスの過不足をどう捕らえているのか、示されないと、検討も具体的にできない、とこれでは水掛け論です。まさに課題は山積み。具体的な計画ができてから、市民向け周知を行うというものですが、10月からのホテルコストと食事代の自己負担による影響額などもチェックしながら、八王子に必要な介護サービスを求める声を上げていきましょう。費用の負担が大きく高齢者家庭を圧迫しています。

JR八王子駅南口再開発について



12月1日の市報で、南口再開発事業の概要が示されました。最大の問題は事業費が示されていないことです。どれだけ費用を市が負担するのか、その負担額が妥当であるのかどうか、そして南口の再開発にどれだけ市民の合意が得られているのか、市民は蚊帳の外に置かれています。市民会館と、そして再開発ビルの中に入れようとしている「三二市役所一もうひとつの市役所」について、再度市の姿勢を問いました。(括弧のなかは、市民の声なき声)

 : 市民会館の設計は誰がやっているのか。市民会館のエントランスは5階となっている。2, 3, 4階は商業施設が入る予定だが、キーテナントはなく、複合施設となる。エレベーターとエスカレーターで行くしかなく、どうしてこういった施設が文化情報の発信、市民の交流の場となるといえるのか。2000人規模の入場者の退出動線の確保はどうなっているのか。他の施設との検討比較を行っているのか。市民会館が駅前にあることで、どうして賑わいになるのか、疑問。

市民活動推進部長 : 再開発組合側で設計を行っている(予算も示さないで設計をするのだから、再開発組合に都合のいい設計となるのではないか?)。チェックはコンサルが行う。しかしまかせっぱなしということではなく、市が責任を持ってコンセプトにあったホールとしていく(他施設の検討もなされていなくて、市として具体的なホールのイメージがない。これで責任がもてるのか?)。大きな空間が必要なので、商業床の上部に設置(それはわかるが、なぜ、入り口が5階なのか、答えていない)。動線の確保については、ユニバーサルデザインに配慮しながら調整していく(具体的にどういうこと?)。南口に建設する効果として、立地として最高の場所であり、周辺の商業施設や市民との連携によるイベントの魅力アップが図りやすいなど、健全な賑わいが創出できると考える(商業施設との連携といっても、具体的な商業施設のイメージを市は持っていない。駅前の市民会館と賑わい、どうしてイコールになるの?)。

まちなみ整備部長 : テナントについては、非常に言いにくい部

分。しかし、魅力あるテナント、若者が来て楽しくなるような店舗が進出するかどうかは、賑わいにとって重要であるので、準備組合のほうに積極的に話をしている(でも、話はしても決定するのは準備組合だし、市として、若者の買い物動向調査や学生の利用駅調査など、調査・データ収集をしていない。これではお金は出すけど、内容はお任せになっている)。



：ミニ市役所についてです。この問題は市長の公約、準備組合からの依頼、そしてもともとあった事務所の再編計画、これらが相まって急に日の目を見るに至った問題。事務所の再編計画については、最近、地域サービスのあり方検討(注1)というたたき台が示されたばかりで、市民への情報提供・議論はこれから。なのに、なぜ、今、再開発ビルの中にミニ市役所を設置するという政策決定をしたのか。

総合政策部長：駅前事務所の利用率が高く、手狭になっている。サービスの内容の向上を拡充していくことがあそこではできない。だから、中央地域については、再開発ビル内に設置することが適当であると考えた。再開発事業が動き出している。だから先行して検討を行った(ミニ市役所を設置すると決定したから、再開発事業が動き出したのではないか?)

(注1) **地域サービスのあり方検討会の提言**：八王子全域を6つにわけ、地域拠点事務所を中心に、福祉や相談業務などの拡充を図っていく。6つ以外の事務所については、基本的に廃止。しかし、サービスは低下させない。



：市政世論調査によれば、市役所の利用は年間一人1回から3回と答えた人が73%、そして用件は、戸籍、住民票や印鑑登録などの証明事務が92%。ミニ市役所が、いったい賑わいをどう作り出すのか、ぜんぜん見えない。活性化がうんと進むとは思わないと、市長自らがいつている。十分な効果もない中で、やらないよりいいという判断は、経営者の判断ではない。

市長：南口の再開発を進めることによって八王子の活性化がすべて解決するという風に思っていないということ。ひとつの手段であると。オール・オア・ナッシングではない。

費用対効果からいって八王子の活性化にならない、といっているのに、これでは答えになっていません。市役所の利用者1日700人、市役所の周りに賑わいがありますか?市民会館の周りに賑わいがありますか?こう、他の議員が質問していました。ほんとだよ。副市長も南口再開発事業については、一部説明不足があったことを認めているのですから、再考を!(でも、今年度中に事業決定しないと、国の補助金が出ないとか)

2004年度決算認定に反対しました。

* ごみの有料化、その収支は?

収入は10億7500万円、その内訳

指定袋製造費ならびに啓発費	3億4000万円
資源化費	3億6000万円
破碎・焼却費	1億7000万円
みどり基金	1億5000万円

10月から始まったごみの有料化です。32.4%の減量を達成したのですが、総排出量は99.466tで、約19%の減となっています。いままで、ごみとなっていたものがリサイクルに回ったということで、これからは発生抑制、つまり、総排出量をどうやって減らしていくかということが問題です。そのための有料

化でもあったのですが、発生抑制の施策がありません。導入が早すぎたというべきです。(多摩市では有料化の提案が議会で否決されました)

* **教育費に人的予算が少ない。**

専任の学校図書館司書(司書教諭で代行)、介助人(いない)、学習支援補助者(要求の半分以下の配置)などの学校現場への人的支援が十分ではありません。

* **7年連続税込減 何が市にとって優先課題か!**

個人市民税が落ち込んでいます。10億あまりの減です。給与所得の減少が原因。これは不安定な非正規労働者の増加という大きな社会問題を背景にしており、国民健康保険の加入者の増でも明らかです。OECD(経済開発協力機構)によると、日本の貧困率(注2)は15.3%で、世界第5位とか。こういった所得格差が広がる2極化していく傾向は、構造改革路線の中では修正していく力を持ちえず、セーフティネットのほころびは大きくなるばかりです。地方自治体の役割は福祉の増進にあることを、改めて確認する時期に来ています。その意味で、開発型の投資的経費の抑制は当然です。

(注2) **貧困率**：全国民の平均的所得の50%以下の所得者の割合
1年間の平均給与 461万円(男性567万円、女性280万円)

何であがるの!議員や市長・教育長などの手当て

給与条例の変更がありました。市職員は人事委員会勧告にしたがい、手取り総額がダウン。しかし、議員、市長、教育長などの特別職の手当ては、期末手当分として0.05ヶ月のアップです。個人市民税が7年連続ダウンしているというこのときに、なぜ、アップするのか理解できません。 **反対しました**

八王子もつくる?100%出資の株式会社。何のために。

補正予算で株式会社設立のための出資金1000万円が計上されました。八王子市住宅・都市整備公社が解散する受け皿としての株式会社設立提案ですが、どういった事業をするのか、定かではありません。提案されている事業内容は、株式会社でなければできないものとおもえないし、ノウハウを持っていない事業をすべきではありません。取締役や定款もきまっています。 **反対しました**

問題が多い、指定管理者制度

- ・ 駐車場管理の指定管理者として、3月末に解散予定の八王子市住宅・都市整備公社とジョイントを組んだ、東急コミュニティグループがきまりました。そんなことってある?
- ・ 長池公園の指定管理者の選考では、8倍もの開きがある傾斜配点で、事業費が安いということが最優先。指定管理者制度の趣旨と違います。しかも同得点。不透明な選考です。
- ・ 親族が指定管理者となった法人の理事をしているため、議員が退席、採決に加わることができない(地方自治法117条規定)というケースがありました。

指定管理者制度導入施設一覧

学童保育所、保育園(1園)、市民センター、地区会館、あったかホール、戸吹湯ったり館、長池公園、駐車場、心身障害者福祉センター、療育センター、高齢者在宅サービスセンター、長房ふれあい館など435施設。



やすこの活動日誌

- 10月1日 中核市勉強会（於：柏市）
 2日 「豊かな八王子の学童保育を」 勉強会
 3日 2004年度決算証拠閲覧
 4日 2004年度決算証拠閲覧
 5日 城山病院見学
 6日 三多摩議員ネット世話人会
 「教科書問題って何なの？」 講演会
 7日 なんでも相談
 9日 「学校図書館はいまー全国では、そして八王子では」 講演会
 12日 決算総括質疑
 シネマとフェミニズム研究会（「犬猫」合評会）
 13日 決算特別委員会分科会
 14日 決算特別委員会分科会
 16日 「介護のある暮らし」シンポジウム
 18日 まま家 食事会
 19日 「女性と専門外来」ウィメンズクリニック内覧会
 20日 西多摩まちづくり研究会
 21日 決算特別委員会
 22日 高遠菜穂子さん講演会（八王子平和を愛する文化祭）
 23日 ふれあい運動会 ①
 町田廃プラスチック処理工場建設説明会
 25日～27日 総務企画委員会行政視察
 近江八幡市（コンプライアンス条例について）
 神戸市（震災復興から10年）
 28日 なんでも相談
 「歌わせたい男たち」（二兎社）観劇
 29日 デジタルハリウッド大学進出説明会
 31日～2日 議会運営委員会行政視察
 呉市 岩国市
- 11月3日 環境フォーラム（於：あったかホール）
 戦後60年特別企画：東アジア×未来 日中韓3カ国の青年で語り
 合おう（八王子平和イベント実行委員会主催）
 5日 「生活安全条例って何？」勉強会
 6日 「オランダから学ぶ高齢社会とケア」公開講座
 7日 カフェミーティング（9月議会報告会）
 8日 「高尾の里」検討委員会傍聴
 9日 シネマとフェミニズム研究会（「子猫をお願い」合評会）
 11日 無言館バスツアー（塩田平を行く！）②
 JR八王子駅南口再開発事業の都市計画変更説明会
 「開かれた議会」アンケート結果公表シンポジウム
 12日 手話まつり
 町田廃プラスチック中間処理施設建設問題を考える住民集会
 （於：中郷公園）③
 14日 三多摩議員ネット定例会（「自立支援法」勉強会）
 15日 会派代表者会
 介護保険事業計画検討委員会 傍聴
 16日 総務企画委員会 厚生水道委員会
 「条例の作り方」勉強会（自治研究センター主催）
 17日 なんでも相談
 廃プラスチック中間処理工場見学（狭山市）④
 八王子市住宅・都市整備公社 評議員会
 「子どもにとって学力とは？」教育講座ばーとⅢ
 18日 少子・高齢化特別委員会
 子供を考える 連続集会（「地域支援とは？」）
 19日 いちよう祭り
 日の出の森シンポ
 圏央道建設公聴会
 20日 いちよう祭り
 音楽芸術フェスティバル
 21日 行財政改革審議会 傍聴
 22日 一般質問締め切り
 25日 議会運営委員会
 26日 まちづくり条例懇談会
 27日 チェルノブイリ～大地・水・いのち～
 「ナターシャ・グジーのバンドゥーラ弾き語り」
 29日 まま家 食事会
 30日 議会運営委員会
 一般質問 本会議
- 12月1日 一般質問
 2日 一般質問
 3日 町田廃プラスチック中間処理工場建設説明会（於：南大沢中学校）
 5日 一般質問（陣内：傍聴ありがとうございました）
 6日 本会議
 7日 総務企画委員会 厚生水道委員会
 7日 文教経済委員会 都市建設委員会
 9日 横浜市廃プラスチック中間処理工場見学会
 10日 「夏のおとどけもの」上映会とお話（シネマとフェミニズム研究会主催）
 12日 会派代表者会
 13日 議会運営委員会
 （株）まちづくり三鷹 視察
 14日 議員研修会
 15日 本会議最終日
 16日 なんでも相談

議会報告会

— みんなでしゃべろう疑問のあれこれ —

12月議会の報告

- ・南口再開発事業について
- ・八王子がつくる株式会社について
- ・ごみ減量について
- ・指定管理者の問題点 など



日時

1月23日(月)18時から カフェン(京王線北野駅北口すぐ)

1月28日(土)10時から 南大沢市民センター



①今年もお元気に！ ふれあい運動会



③子どもも、若者も、男性も、女性も。



「チェルノブイリ消えた故郷・生命の輝き2から」CDより
 （発売元：チェルノブイリ子ども基金）



②バスの中でみたビデオ
 「日本国憲法」
 （発売元：株式会社 シグロ）



④八王子からもちこまれる
 プラスチックの山



インフォメーション

1/15

みんなで創ろう八王子市立自然科学博物館

主催：高尾の自然科学博物館を考える会
 (0426-61-7197)

日時：1月15日(日) 18時40分から21時

場所：いちようホール 小ホール 費用：500円(資料代)

2/12

喘息と地域環境「焼却炉が止まったら喘息が1/3に減った」

日時：2月12日(日) 14時～

場所：立川市女性センターアイム

主催：環境と喘息プロジェクト(042-396-5923)

費用：500円(資料代)

みんなの居場所へのご協力ありがとうございます。
 リサイクル品の売り上げ、カンパ等で47,910円となりました。
 運営費に使わせていただきます。